

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	54 伊東市における観光都市へのアクセス強化による安全安心なみちづくり		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付団体	伊東市
計画の目標	観光施設及びジオパークへのアクセスを強化し、来遊客に対し安心安全で新設な観光都市を形成し、観光客の入込客数の増加をめざす。		

## 計画の成果目標（アウトカム指標）

- ① 市内における観光施設への到達時間の短縮を図る。
- ② 観光客の入込客数の増加をめざす。

## アウトカム指標の定義及び算定式

- ① 主要幹線道路から観光施設への到達時間を算出する。  
 (到達時間の短縮%) = ( (当該年度到達時間) / (当初到達時間) ) × 100
- ② 観光客の入込客数の増加率を算出する。  
 (増加率%) = ( (当該年度入込客数) / (当初入込客数) - 1 ) × 100

										定量的指標の現況値及び目標値			備考	
										当初現況値	中間目標値	最終目標値		
										(H26当初)	(H28末)	(H30末)		
①										100%	70%	50%		
②										0%	2%	5%		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	593 百万円	A	593 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0%	

## 事後評価

### ○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	建設部内で事業評価を実施した
事後評価の実施時期	令和2年度
公表の方法	当市のホームページで公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況 【 ○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） -：その他（備考欄に記入） 】

A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30					
54-A01-001	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	(1) 富戸・梅の木平線	現道拡幅 L=0.66km	伊東市						522	△	-	-	R元から単費継続
54-A01-002	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	(1) 泉・城星線	現道拡幅 L=0.18km	伊東市						71	△	-	-	R元から単費継続
									合計					593				

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30					
									合計									

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30			
									合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①主要幹線道路から観光施設への到達時間の短縮については、最終目標値の達成には至らなかった。しかしながら、実施した事業による旅行速度の改善により、38%程度の到達時間が短縮された。今後、各路線の進捗に伴い、10%程度の短縮が期待できる。</p> <p>②観光客の入込客数の増加率については、最終目標値の達成に至らなかった。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標① (到達時間の 短縮%)	最終目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因	用地取得の遅延等により、計画どおりに整備が完了しなかったことが影響している。今後、単独事業にて整備を進めることで、到達時間の短縮の向上に努めたい。
		最終実績値	62%		
	指標② (入込客数の 増加率%)	最終目標値	5%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	2%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		道路幅員の拡幅、舗装の整備、歩道の整備等が進み、道路環境が向上したことにより、市民生活における安心・安全性及び快適性が向上したと考えられる。			

3. 特記事項（今後の方針等）
遅れの生じている事業の進捗に鋭意に取り組むと同時に、計画的な道路整備等をより一層行っていくことで、円滑なアクセスを向上させ、市民の安心・安全な暮らしの支援及び来遊客に対し親切な観光都市形成を進めていきたい。



# 社会資本総合整備計画(参考図面)

計画の名称	54 伊東市における観光都市へのアクセス強化による安全安心なみちづくり		
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)	交付団体	伊東市

